

建物耐震効果ひと目で



紙製の模型キット「ゆらり」と、開発した田中輝彦さん＝神戸市内

神戸の建設会社OB・田中さん

田中さんは、鹿島建設(本 ダムなどの設計・施工に携わ 害復旧業務に追われる中、誰 社・東京都で橋やトンネル、 った。阪神・淡路大震災で災 ても日ごろから地震の知識を

「ゆらり」再現模型開発

大手建設会社を定年退職し、現在は建築や土木の知識の普及活動に取り組む神戸市垂水区本多町の田中輝彦さん(六七)が、地震による建物の揺れ方がひと目で分かる紙製の模型キットを開発した。模型は手のひらに乗る大きさだが、

筋交いを入れる「耐震」や、重りて揺れを抑える「制震」、地面の揺れを建物に伝えにくくする「免震」などの補強効果も確かめられる本格派。家庭や学校で使える防災学習教材として注目を集めそうだ。(石崎勝伸)

手のひらサイズで本格派

「防災教育に活用を」

身に付けておく必要性を感じ、紙製の模型を考案。各地の親子向けイベントなどで参加者に使ってもらいながら改良を重ねてきた。

「ゆらり」と名付けた模型キットは、二階建ての家三棟と八階建てのビル一棟、振動台、家具などで構成している。振動台に建物を載せ、端を手で引つ張ると、ゆっくりとした揺れでは高いビル、小刻みな揺れでは低い家の方がより大きく揺れることが分かる。さらに紙で作った筋交い、屋根から系でつるす重り、家の下に敷くつまようじも用意。家と組み合わせることで、耐震や制震、免震の効果が分かる。

田中さんは「理科離れが叫ばれる今の子どもたちはもちろん、大人も自分の目で効果を確かめ、自宅の補強につなげてほしい」と話す。

一セット四百円。五十円以上の注文は一ト当たり三百二十円。いずれも送料別。問い合わせはキットを製作している川嶋建設 ☎0796・22